

DX

ITデジタル基盤整備とソリューション
提供により、現場/事業/経営の変革を
リードします。

ITデジタル本部長 蜂須賀 正義



基幹業務のプロセス変革を牽引するITデジタルソリューション開発

エンジニアリングチェーン・サプライチェーンの基幹プロセス刷新に取り組んでおり、営業/設計/生産準備/調達/製造/物流/品質管理などあらゆる情報のデジタル化とデータ利活用を進めています。例えば、製品受注をトリガーに、開発日程・製品仕様・図面(3Dモデル)などもグローバルで一元管理できるようになり、大幅な業務効率化とリソースシフトを実現しました。新たな活動としては、製品設計レビューの業務プロセスをシステム化し、設計品質の向上や生産準備のリードタイム短縮にも取り組んでいます。物流分野では、構内搬送の自動化やAIを活用した荷量計測で積載効率向上などを実現しています。また、製造実績データや品質トレーサビリティシステムの活用により、製造現場の生産性向上とリードタイム短縮に貢献しています。新しい取り組みとしては、設備保全業務をデジタル化し、故障が発生する前に対応する予兆保全への転換を目指します。

バックオフィス業務の分野では、老朽化したレガシーシステムの刷新を通じて、生産管理・会計・人事などのプロセス刷新に取り組んでいます。財務会計・管理会計システムの全面再構築に着手しており、非効率な間接作業や管理工数を削減するとともに、近年課題である材料市況や労務費影響などのコスト分析強化、ROIC指標の詳細化・精緻化などにも取り組んでいます。

これらの多角的な活動により、基幹業務の全体スルーでの効率化と高度化を加速させ、データに基づく迅速な意思決定と、より戦略的なリソース管理を実現します。

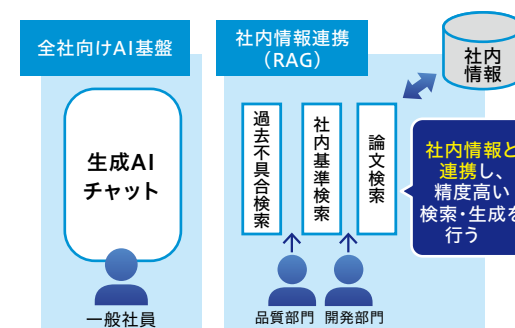


設備点検業務をデジタル化し、保全業務にも活用

DXの推進を支えるITデジタルプラットフォーム整備

①生成AIの活用

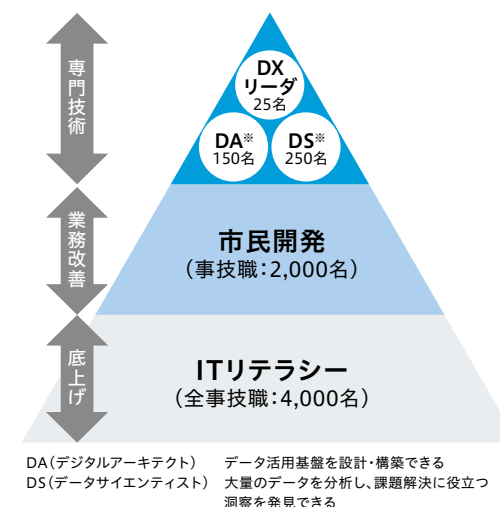
全社員が生成AIサービスを利用できる環境を整備し、活用に向けた教育を行うことで、業務の生産性向上に取り組んでいます。さらに、社内データやナレッジを生成AIで有効活用するための基盤(RAG)の構築も進めています。これにより、蓄積された研究開発データから高精度に情報を抽出したり、必要な情報を効率的に収集できるようにするなど、業務の質の向上にも注力しています。



②デジタル人材育成

デジタル技術やデータを高度に活用できる人材の育成を目指し、当社ではクラウド技術やデータサイエンスに関する専門研修に加え、生成AIを含むITリテラシー向上の教育を全社的に展開しています。社員が継続的に学習できるよう、体系的なカリキュラムと学習環境を整備し、その“学び”を積極的にサポートしています。さらに、“市民開発”人材の育成にも注力し、現場社員が主体的に業務の自動化・効率化に取り組めるよう支援しています。これらの取り組みを通じて、デジタルの力で職場の生産性向上を実現しています。

デジタル人材育成の全体像



③サイバーセキュリティ対策

日々巧妙化・悪質化するサイバー攻撃による情報漏えいや生産・出荷停止といったリスクの高まりを受け、当社ではサイバーセキュリティを全社における重要なリスクのひとつと位置づけています。仕入先を含むサプライチェーン全体を対象に、対策の強化に取り組むとともに、万が一攻撃を受けた際にも迅速に対応できるよう、サイバーBCPの観点から訓練や体制整備も進めています。